

NEXT 長崎人材育成事業 長崎県立口加高等学校 学校見学・意見交換会報告

- 1 日時：令和6年10月10日（木）9：40～12：25
- 2 場所：長崎県立口加高等学校 会議室
- 3 出席者：14名（産業界3名、知事部局1名、学校7名、本庁3名）
- 4 目的

口加高等学校の生徒活動や施設の見学とともに、「福祉科の魅力アップとPR」や「福祉教育の広がり」について意見交換を行い、今年度の取組を協議する。また、今後に向けて、連携して広がる福祉教育・人材育成を練り上げるための意見交換を行う。

5 日程

- | | |
|-------|---|
| 09：40 | 開会 |
| 09：40 | 口加高等学校長 あいさつ |
| 09：45 | 高校教育課あいさつ・概要説明 |
| 09：50 | 参加者自己紹介 |
| 09：55 | 生徒授業等見学・施設見学（30分程度）
授業参観：森田教諭授業・石橋教諭授業
施設見学：介護実習室 |
| 10：35 | 意見交換会 |



意見交換会



実習室見学



授業見学

6 意見交換の協議内容

福祉科の魅力アップとPRについて

11月2日（土）実施予定の文化祭及びオープンスクールについて

- ・ 10：30～11：00 OSに参加した全員が聞く時間
- ・ 11：00～13：00 自由に展示やブースを見学する時間

長寿社会課より	○介護テクノロジー機器の体験会の提案 (機器4種(コミュニケーション1、移乗支援3))
---------	--

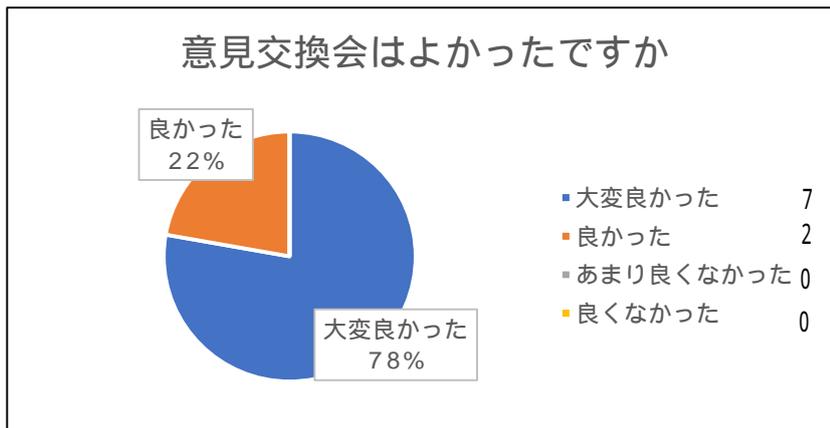
介護テクノロジー展示機器一覧	
LOVOT (コミュニケーション)	マッスルスーツ Every (装着型)
	 
Hug (移乗支援)	J PAS Fleairy (装着型)
	  
<p>○当日は使い方を教えることができる2名を派遣予定。安心して使ってほしい。</p> <p style="text-align: center;">機器の操作自体は難しくないので、事前に生徒に操作を覚えてもらい、生徒が中学生に指導・支援する形で使ってもらえば。</p>	
県社協 施設長	<p>○高齢者体験セット4セットを無償で貸与できる。</p> <p>○県の介護の魅力伝道師の話は面白いのではないかな。</p>
口加高校	<p>○オープンスクールに参加する中学生にとっても、文化祭に参加する高校生にとってもウキウキ・ワクワク感が感じられる内容にしたい。</p> <p>○福祉科の生徒が楽しく学んでいることを伝えられる場にしたい。</p>
高校教育課 (事業コーディネーター)	<p>○オープンスクールには広報が大事。生徒目線でインスタを配信したり、当日にQRコードを掲示し、フォロワーになってもらい、情報発信をする手立てになれば。</p>

福祉教育の広がりについて

福祉の学びのすそ野を広げて考えられる福祉教育の在り方について

- 授業の中でも魅力伝道師の話を取り入れてはどうか。
- 県の魅力伝道師の研修会や交流会があるので、その場に高校教員が参加してはどうか。
- 生徒がウキウキワクワクする体験をしながら一つでも気になること・興味のあることを実施したい。
- 特に保護者に対して「福祉」に対するイメージの払しょくが必要。
- 口加の福祉科に来れば「多様な学びや進路がある」ことが伝わるような取組がしたい。
- 福祉の職場において求められる力は・・・
コミュニケーション力、応用力、自発力、等 社会人基礎力の育成
- 福祉を学ぶ生徒が校内だけでなく、他校の生徒とつながる・出会う機会があれば、広い視野で学べるのではないかな。リモートでつなぐなど。
- 外国人の方で介護で活躍している方と生徒との交流会を実施したい。できれば全学年で。

7 実施後のアンケート



【学校見学・授業見学の感想】

- 学校の授業でも介護現場の実態(給与水準等)を話されていて、生徒達がより現実的に学んでいることがわかってよかった。
- 教員が体験を交えた話をしており、生徒は福祉の仕事を身近に感じることができる。また、実習室にベッド等もあり、現場に近い雰囲気です。授業を受けることができると感じた。

【意見交換会を行っての感想】

- 意見交換会も良かった。もっと福祉の現場に関する話を広く話したかった。先進的な取組(例えばDXの取組)など、今後、また学校と話し合いができれば。
 - 福祉科の学校現場が求めていることを知ることができたことや、県として支援できることも共有できたので、よかった。
- (学校)
- 予算・時間・費用対効果・業務負担のバランスの大切さ。
 - 口に出すことで、解決の糸口が見つかることを実感した。
 - 授業見学を実施したが、思ったよりも参加者の反応があり、授業見学の必要性を感じた。

【福祉教育・福祉人材に育成における課題】

- 福祉の魅力が中学生ぐらいから知らせること。福祉の道を目指す人を増やすことが課題。そのためにはPRも大事。福祉の仕事の大切さややりがい・明るさを知らせたい。
 - 生徒自身はもちろんだが、保護者や中学校の先生、福祉以外の教員への理解促進は欠かせない。
- (学校)
- 介護への誤った認識(3Kなど)を是正すること。
 - 福祉教育が対象とする領域が高齢者介護に限定されているようなイメージを払拭して、高齢者だけでなく、障がい者と健常者が共存して社会の幸福を築くというビジョンを、いかに浸透させるかが課題である。
 - 各団体がそれぞれで福祉教育を行っているが、子どもから大人まで一貫した継続的な福祉教育を検討する必要がある。
 - 他部門との繋がり。どうしても福祉、介護というカテゴリーで見てしまい、視野が狭くなっている。

【今後取り組みたいこと、その他】

- 福祉科学生が、介護現場の職員の方と交流する機会が増えるような取組ができれば。
 - 定期的な意見交換の場を設けていただければよい。
 - 口加高校の生徒が地元中学校で介護の魅力を発信する活動をされているが、非常に素晴らしい取組だと思うので、是非今後も継続していただきたい。
- (学校)
- 教育DXの推進。
 - 福祉とコラボしている企業、美容業界や建築業界、アパレル業界などの方の話を伺ってみたい。